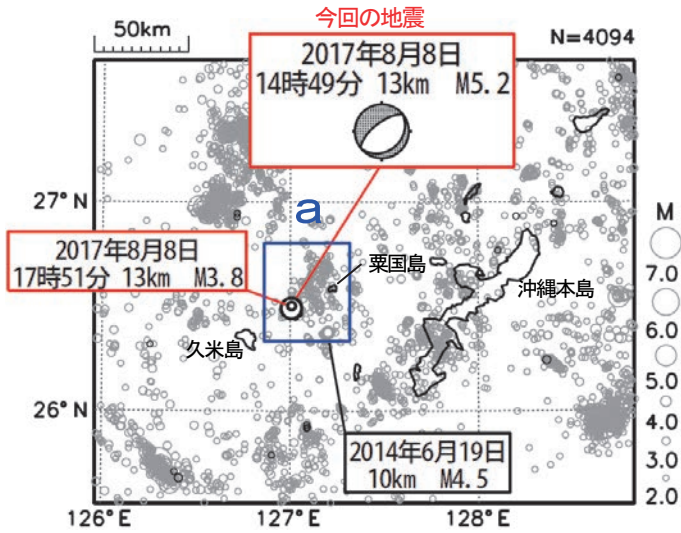
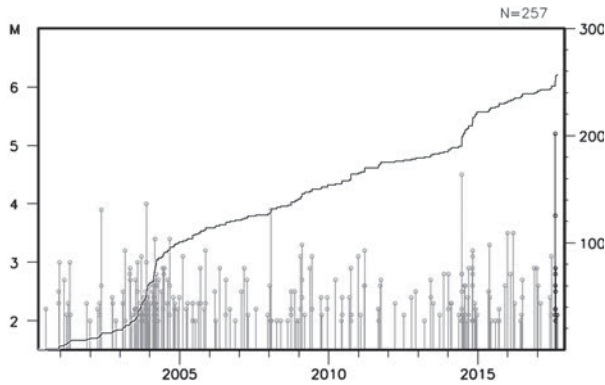


## 8 月 8 日 沖縄本島近海の地震

震央分布図  
 (2000 年 7 月 1 日～2017 年 8 月 31 日、  
 深さ 0km～30km、 $M \geq 2.0$ )  
 2017 年 8 月の地震を濃く表示  
 図中の発震機構は CMT 解



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

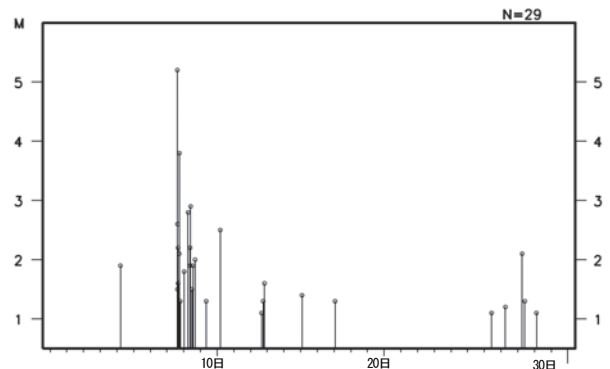


2017 年 8 月 8 日 14 時 49 分に沖縄本島近海（久米島の北東約 30km）の深さ 13km で  $M5.2$  の地震（最大震度 3）が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構（CMT 解）は北西－南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震の発生後ややまとまった活動があり、同日 17 時 51 分に  $M3.8$  の地震（最大震度 2）が発生した。

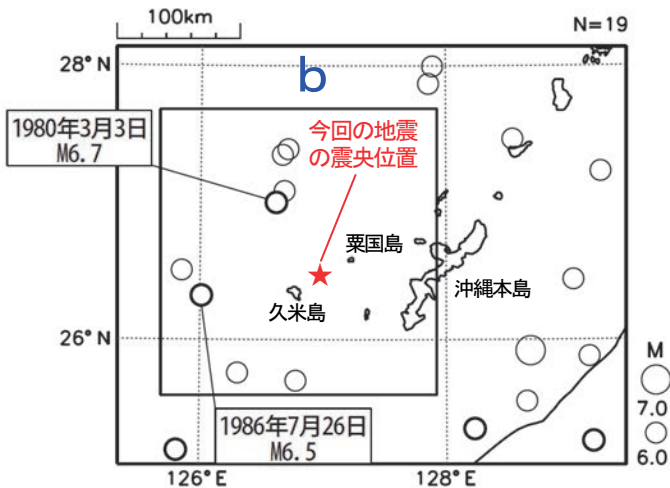
2000 年 7 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、 $M4$  程度の地震が時々発生しているが、 $M5.0$  以上の地震は今回が初めてであった。

領域 a 内の M-T 図

(2017 年 8 月 1 日～2017 年 8 月 31 日、 $M \geq 1.0$ )

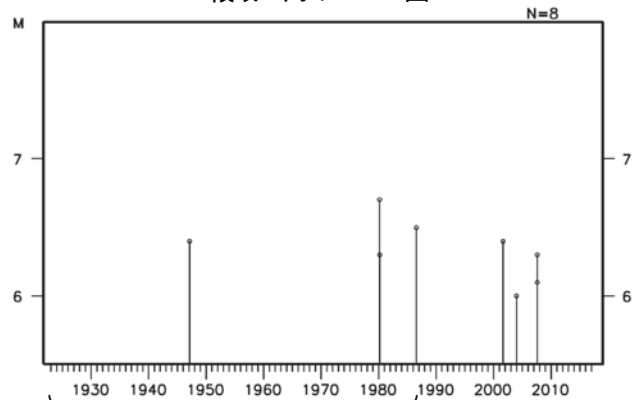


震央分布図  
 (1923 年 1 月 1 日～2017 年 8 月 31 日、  
 深さ 0km～100km、 $M \geq 6.0$ )



1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、 $M6.0$  以上の地震が時々発生しており、1980 年 3 月 3 日に  $M6.7$  の地震（最大震度 3）が発生している。

領域 b 内の M-T 図



(この期間は検知能力が低い)